

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成26年7月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4671000190号
法人名	医療法人全隆会
事業所名	医療法人全隆会 指宿みどり館
所在地	鹿児島県指宿市東方7521番地3 (電話) 0993-24-5161
自己評価作成日	平成 26年 6月 15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年7月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

※みどり館の理念を念頭におき、利用者様が笑顔で安心して過ごせる様に努力している。
※スタッフ全員が資格取得、目標をもって働き、利用者様のケアに活かせる様に努力している。
※地域の方には協力を頂いているので、当館でも地域の活動には積極的に参加して地域の一員として貢献出来るように努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは、指宿市内に位置し母体の医療機関に隣接しており、介護老人保健施設、生活訓練施設、通所授産施設などがあり、特に老人保健施設とは行事を通じて日頃から交流をしている。また、近くには指宿神社や温泉もあり閑静で穏やかな環境にある。
- ・「笑顔、安心、思いやりを大切にします。家族や地域との関わりを大切にします。お一人お一人の、権利と尊厳を守り日々の生活の安全に配慮します。」といったホームの理念を利用者、家族、職員と共有できるよう努めており、日々質の高いケアが提供できるよう取り組んでいる。
- ・年2回家族会を開催し、家族向けのアンケート調査やヒアリングをして、出された意見や要望などをケアの改善に取り入れ、結果を文書にて報告している。毎月、家族には、写真をあしらった「指宿みどり館だより」にて近況報告をするとともに互いに情報交換を図っている。
- ・食材の買出しや家族からの差し入れ、食事の準備や片付け、おやつ作りなど、利用者職員が楽しく食卓を囲む家庭的な雰囲気がある。ホームの庭には、ヘチマ、トマトなど菜園で栽培し、利用者全員で草取りをするなど畑の手入れにも余念がない。また、外食も楽しみの一つである。
- ・職員は半年に1回自己評価し、管理者と面談をおこない自分自身の目標の実現に向けて、内・外の研修会や勉強会に積極的に参加するなどして、自己研鑽し資格取得にも意欲的に取り組み法人もバックアップするなど職員教育に熱心に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は常日頃から目につく場所に掲示している。申し送り時やスタッフ会議の際にも確認して理念に基づいたサービスが提供出来る様にしている。	日々のケアの中で、常にホームの理念を念頭に置きサービスを提供し、また、振り返るようにしており、管理者や職員に理念は浸透している。また、玄関やパンフレットにも掲載して常に意識を持ってケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	運営推進会議や避難訓練には必ず地域の方に参加してもらっている。また、地域の夏祭りや運動会にも参加させてもらい交流を図っている。毎年、中学生の職場体験学習の受け入れもしている。	地域の行事（運動会や夏祭り、リサイクル活動、清掃活動）への参加や、中学校の職場体験の受け入れ、ボランティア（ホーム・大正琴）の慰問がある。しかし、ホームに気軽に立ち寄っていただくまでの相互関係が未だ構築されておらず管理者は近所付き合いや地域住民との交流により一層の取り組みを行っているが、まだ十分な関わりができていない。	普段の暮らしの中で、近所の人々が何気なく立ち寄ったり、遊びに来たり、差し入れをするような関係性を築くことができるような取り組みに今後期待したい。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議や避難訓練に地域の方へ出席してもらい利用者や接してもらいながら認知症を理解してもらっている。又、地域貢献の為に子供110番の旗を掲げている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事・活動報告、インシデント・アクシデント報告を行い、委員の方々から様々な意見交換を行い、良いサービスが出来るようにしている。	2か月1回の会議を開催しており、市職員、民生委員、家族代表、利用者代表、公民館長、老人クラブなどの参加があり運営のあり方や課題など参加メンバーから質問、意見、アドバイスなど質疑応答式で忌憚なく意見交換できる機会になっており、より良いサービスの提供に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所に行った際は立ち寄って情報交換を行ったり、運営推進会議に出席してもらい他施設はどの様な対応をしているのかアドバイスや意見をもらっている。	市担当者には、日々の関わりの中で相談や報告、アドバイスなどいただきながら関係性を築いている。運営推進会議にも参加があり、市の情勢や介護保険関連の情報など提供してもらっている。また、福祉事務所の担当者も定期的に訪問があり、連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についてはスタッフ会議などで勉強会をして全スタッフが理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠については極力しない様に努力している。	ホームは、身体拘束をしない取り組みを実践しており、玄関も施錠せずさりげなく見守り、安心できるケアや自由な暮らしを支援している。また、言葉の使い方にも注意を払い、利用者の行動を抑制することがないように気をつけている。スタッフ会議や勉強会を定期的におこない、身体拘束についての理解を徹底している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	申し送り時にスタッフ間で対応について確認をしたり、スタッフ会議で虐待にあたる行為について意見交換し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会があれば管理者もしくは職員が必ず参加し、スタッフ会議の際に研修報告し全職員が理解する様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者様やご家族には文書や表にして十分説明をしている。改定の際にも説明し理解を求めて分からない事があった時にはその都度、声をかけてもらう様にしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の要望や意見などは毎月の面会時や行事など参加してもらった時に聞くようにしている。意見箱も設置している。</p>	<p>利用者には、日頃から意見を直接聞くなどしている。家族にも随時面談や行事の時などに聞くようにしており、出された意見や要望などは職員全体で話し合い改善や解決に向けて努力している。また、2年ごとに家族向けのアンケート調査を実施し、結果は文書にて家族に報告して運営に反映させサービスの向上に繋げている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的にスタッフ会議を行い、また館内でも話し合いを行っている。意見や提案は直ちに代表者に届ける様にしている。</p>	<p>管理者は、年2回賞与月に個人評価とともに、個人面談を実施して意見を聞く機会を設けている。管理者自身は、法人内の直属の上司との面談にて評価を受けるしくみがある。日常は、スタッフ会議など職員の意見、要望などを管理者が聞くとともにコミュニケーションを取っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>主に管理者が職員の状況や問題点を把握し代表者に報告し、情報を共有しながら働きやすい環境を整備する努力をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員には法人内外の研修会に参加する様に勧めており、実際に一定の効果や成長が見られている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業他施設との交流は他施設見学や勉強会等を通じお互いに向上できるよう努力している。また、それを現場にフィードバックする様に促している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>居室にて、ゆっくりと利用者様の不安なことや困っている事を傾聴する事で何でも話が出来る様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>不安や困っている事がないか尋ね傾聴することによって何でも言ってもらえる時間作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族、本人、スタッフで話し合いを行い、最善の解決策を出し合い必要に応じては他のサービスの利用を紹介している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>畑仕事や料理を一緒に行うことで人生の先輩として尊重し色々教わりながら良い関係作りを築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には毎月1回みどり館便りと個人の状況を写真入りで報告している。また、個人の状況では、毎日の血圧・熱測定の平均値も載せてご家族にも分かってもらっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様と一緒に買い物や散歩に行き利用者様の友人や知人に会った場合はいつでも面会出来る事を伝えている。また外出の要望があれば外出が出来るように努めている。	週に3～4回は近隣のスーパーに食材の買出しなどに行ったり、天候を見て近所を散歩している。また、利用者の友人の方が定期的に遊びに来られる方もいて関係性を大切に支援している。家族とは、墓参りや外泊するなどして地域に出かけていく場面を継続して支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションでは全利用者様が参加出来るものを取り入れて孤立しない様に配慮している。利用者間でトラブルがあった時にはスタッフが間に入り話を傾聴してから良い関係が築けるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されたご家族が来館された時には現在の状況を聞き困った事や不安な事があった場合にはご家族の相談にも応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人とゆっくり話をし、思いや希望を聞き取るようにしている。ご家族とも意見を交えて本人の気持ちに添える様に検討している。	利用者には、日々の暮らしの中で言葉や行動などでその真意を汲み取り、言葉にしづらい方には、家族から情報を得るようにしている。また、職員は本人の視点にたちその人らしく暮らし続けるための取り組みについて意見交換し情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人と世間話をしながらコミュニケーションをとり、これまでの生活歴や生活環境を聞き取り本人の意向に添える様な暮らしに近づけるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	共有の場では個々の能力等に配慮しながら手伝いをしてもらっている。心身状態の変化は申し送りを密にして、その都度共有出来るようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ会議や申し送り時に意見交換や情報を出し合い話し合っている。ご家族とも話し合いを行い利用者様の希望に添った介護計画作成に努めている。	計画の原案を立案する前に、モニタリングを実施しカンファレンスを開催して、職員の意見交換をしたのち担当者会議を開催している。会議には、家族も参加して話し合い、利用者が望む暮らしの実現に向けて現状に合った介護計画を作成し実践している。また、見直しは随時おこないアセスメントも職員全員でおこなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護計画に基づいたケアの実践を行い、気づきがあったら全スタッフが共有できるように申し送りノートに記載して対応を検討して介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族の希望があれば柔軟な支援サービスが出来るように取り組んでいる。スタッフの質の向上も図り事業所の多機能化にも取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事に参加している。防災訓練には協力をしてもらっている。遠足では写真展を見に行き利用者様は懐かしんで見入っていた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族・本人の同意の下に往診医をお願いしたり今までのかかりつけ医との協力を得て対応している。</p>	<p>主治医は、本人の希望する医師であり、定期受診は、職員が付き添い外来受診しているが、緊急時や体調不良時は往診を受けたり、家族に協力をもらい受診の手助けをしている。また、週1回訪問看護師が訪問して健康状態を把握するとともに医療との連携を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>法人の看護師が定期的に来館し相談している。また主治医との連携を図り健康状態を管理している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>病院関係者には本人の情報を提供しお見舞いに伺い本人が安心出来る様に支援している。状況を把握し早期退院出来るよう相談している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族には十分に説明しホームで出来る範囲の体制はとっているが、看取りを行った事は無い。</p>	<p>入所時に「重度化した場合の対応に係る指針」にて、段階に応じて重度化し、看取りに至るまでのホームでできることについての説明を十分におこない、利用者、家族に理解を得ている。現時点で、看取りの実績はないが、本人や家族が納得がいくよう随時意思を確認しながらケアに取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急・応急手当の勉強会を実施している。事故発生時にはすぐに対応出来るように緊急連絡網を作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練時には法人の防火管理者や職員にも参加してもらっている。また、地域の方にも参加してもらい協力体制を築いている。訓練の際には必ず消防署の立会をもらい指摘、指導を受けている。災害時の為に備蓄も行っている。	避難訓練は、昼夜想定で年2回実施しており、地域住民への合図も決めて訓練にも参加してもらっている。また、消火器の取り扱い訓練、消防設備の点検をおこない、備蓄（アルファ米など）もある。水害時は、同法人施設に避難するよう予め決めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に対して仕事として接するだけでなく一人ひとりを人生の先輩として尊敬の念を持ちながら対応している。	居室の扉は、本人在室時は開放しているが、不在時は必ず閉めプライバシーに配慮している。一人ひとりの人格を尊重し、尊厳を持ってケアに対処するよう職員全員で取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事等は利用者様の希望をくみ入れるように配慮し洋服等は好みの物を自分で選んでいただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが本人の希望を優先し、その人らしく生活出来るようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で整髪や髭剃りをしてもらい身だしなみに気をつけている。洋服や髪型も好みのものにしてもらいおしゃれも楽しんでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の準備や後片付けは一人ひとりが出来る範囲で行ってもらっている。食事はスタッフと一緒に談笑しながら楽しく食べている。	本人の生活歴や意欲、能力を勘案して本人と職員と一緒に食事の準備や食事、片付け、買い物などして一緒に食事を楽しむ環境づくりに力を入れている。家庭菜園の手入れ（草取りなど）を始めとして、家族からの差し入れ、行事食や外食も楽しみの一つである。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	夏場の暑い時などは水分量を増やしたりして調整をしている。食事も一人ひとりの状態に合わせて刻み食を提供し食事が全部食べられる様に工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔を保つ様に毎食後、歯磨きやうがいの声かけを行っている。ポリデント消毒も行い、舌が白い利用者様には舌ブラシを購入し対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の排泄パターンに合わせてトイレ誘導を行い排泄が出来る様に支援している。排泄チェック表を用いて個人の排泄状況を確認しオムツを使用せず自立に向けた支援をしている。	排泄機能の高い方が多く、排便の有無だけは、本人に聞き取り職員が把握するようにしている。日中は、呼び鈴をしまっているが、夜間帯にはベットやトイレに設置して使用している。また、足元灯も併用し転倒などしないよう配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維のある食物を提供し散歩や腹部マッサージも行い自力で排便が出来るように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴前には体調を観察し検温を実施している。本人にも体調を聞きながら希望に添った入浴に心がけている。入浴時にはコミュニケーションを取りながらゆっくりと入浴出来る様に支援している。	毎日、温泉が楽しめる環境がある。入浴の順番も予め利用者の了解を得て決められており、混乱や不満など聞かれない。時間帯も午後3時半以降と決めており、一人ひとりのペースで入浴を楽しんでもらえるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣に合わせて安眠出来るように支援している。状況に応じて自由に休息出来るよう環境作りを支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更や追加があった時は職員間で申し送り、服薬後に変化がないか観察し記録をとっている。与薬説明書は職員がいつでも見れる場所に置き不明な点は病院に聞いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	買い物に行きたい場合は時間を作り同行している。畑仕事や料理の手伝いなど利用者様の生活歴を活かした支援が出来るように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の行事へ参加したり日々の散歩も一人ひとりの体調と希望を考慮して行っている。また、ご家族と連絡を取り外出の支援も行っている。	天候を見ながら近隣を数人で散歩したり、家族に協力をもらい自宅に帰ったり、お墓参りや地域の六月灯、施設の夏祭りに積極的に出かけ地域の方々と交流している。お盆は毎年家族と一緒に過ごす利用者もいる。年に数回は、ドライブがてら花見や散策に出かけ弁当や外食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望で買い物に出かけた際には時間を作って同行している。値段の確認をしてもらって購入し、力に応じて残金の確認もしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族から年賀状が届いたりご家族に写真付で本人直筆の年賀状を出している。電話も本人の希望があれば出来る様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や居間に生花を飾ったりして季節を感じられる様にしている。照明も明るすぎない落ち着いた色のある色で調整している。</p>	<p>玄関を開けるとそこに利用者や職員の明るい笑顔が覗いている。食堂とリビングが一体になっており、食事の準備のにおいや音、人の話声が生活感を与える。壁には、利用者の作品が展示され、季節の生花が飾られて季節感を演出している。日当たりのよいポーチがあり庭にも自由に出入りできる。ゆっくりしたい時は、ソファでのおんびり過ごし、照明も調整されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者様同士がソファに座り楽しく話をしたりホールで思い思い過ごせる居場所を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具は自宅で使用していた慣れた物を使用し安心を得てもらっている。カラーBOXやケースなども自分で持ち込まれて使用している方もいる。	居室のベット、洋服ダンスが設置しており、使い慣れた家具や調度品、家族写真が置いてあり、それぞれの利用者の居心地のよさに配慮されている。衣替えの時期は、本人、職員も手伝い衣類の入れ替えを家族に依頼している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下にある手摺りを利用して身体機能を高めたり、安全に使用出来る様に日頃から声かけしながら使用している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない